令和２年９月 25 日

公益社団法人日本水環境学会
中部支部会員　各位

公益社団法人日本水環境学会
中 部 支 部 長　　谷　　幸 則

令和２年度公益社団法人日本水環境学会中部支部研究発表会について

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、公益社団法人日本水環境学会並びに同学会中部支部の活動に、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和２年度公益社団法人日本水環境学会中部支部研究発表会及び講演会については、11 月の開催に向け調整していましたが、COVID-19 の蔓延防止に配慮して、講演会は中止とし、研究発表会を誌上で開催します。

直接の意見交換はできませんが、支部会員に広く研究成果を発表する機会となりますので、多数の参加をお待ちしております。

ついては、別添実施要領を確認のうえ、事務局あて参加申込みをお願いします。

（公益社団法人水環境学会中部支部事務局）
静岡県環境衛生科学研究所（栗田、杉浦）
〒426-0083　静岡県藤枝市谷稲葉 232-1
静岡県環境衛生科学研究所
電話：054-625-9123
E-mail：kantai@pref.shizuoka.lg.jp

令和２年度公益社団法人日本水環境学会中部支部研究発表会実施要領

1　目的

公益社団法人日本水環境学会中部支部会員および関連団体が研究成果の発表と意見交換を行うことで、研究技術の研鑽と人的ネットワークの拡充を図り、中部支部担当地域における水環境の保全、学術文化の発展等に貢献することを目的とする。

2　概要

(1) 内　　容：誌上発表（内容は、ポスター発表相当とする。）
　　講演集の配布のみも可能です。
(2) 時　　期：令和２年 12 月（要旨集送付と質疑応答）
(3) 参加資格：公益社団法人日本水環境学会中部支部会員（個人正会員、団体正会員、特別正会員、学生会員）および会員の推薦を受けた者
(4) 発表内容：水環境に関する調査研究成果（他で発表した成果でもかまいませんが、発表原稿は新規に作成してください。）
　　なお、発表演題数に制限はありません。
(5) 表　　彰：実施しない。
(6) 参 加 費：無料

3　開催方法

(1) 参加者のエントリー
- 参加希望者は、別紙１「参加申込書」に必要事項を記入の上，事務局あて送付してください。（電子メール又は fax）
- 参加申込は、原則所属単位で取纏めてください。
- 申込期間：令和２年 10 月１日（木）～11 月 13 日（金）

(2) 発表原稿の作成及び送付
- (1)でエントリーした発表者は、発表原稿を作成し、事務局あて送付してください。（電子メール又は郵送）
- 送付期限：令和２年 11 月 13 日（金）（必着）

(3) 講演集の編集及び送付
- 事務局は、(2)で収集した発表原稿を製本し、参加者あて郵送します。
- 発送部数は、原則１所属１部とし、12 月初旬に到着するよう発送します。

(4) 質疑応答
- 質疑は、別紙２「質疑表」に記載し、令和２年 12 月 14 日（月）までに事務局あて送付してください。（電子メール又は fax）
- 事務局から代表者宛て照会し、回答は参加者で共有します。

4　問い合わせ先（送付先）

（公社）日本水環境学会中部支部事務局
〒426-0083　静岡県藤枝市谷稲葉 232-1
　　静岡県環境衛生科学研究所　大気水質部
　　電話：054-625-9123　E-mail：kantai@pref.shizuoka.lg.jp

研究発表究会発表原稿作成要領

1　原稿は、Ａ４版とし、左右各 15㎜、上 20㎜、下 25㎜ の余白をとり、その枠内に、文章、図表が収まるようにしてください。

2　原稿枚数は、図表を含め２枚を目安としてください。

3　印刷は、モノクロです。

4　原稿の文字は９～１０ポイントの活字（１行 45 字を目安）とし、行数は 50 行を目安としてください。

5　題目、発表者の所属および氏名は、１枚目の１～６行に記入してください。

6　題目は本文よりも大きな活字あるいはゴシック体とし、題目は中央に揃えてください。

7　発表者の所属および氏名は右寄せで記入してください。

8　５～６行に１コマ目から、題目、発表者の氏名および所属を英語でこの順に、コンマ区切りで続けて記入してください。所属は、括弧書してください。なお、前置詞、接続詞を除く単語は、最初の文字を大文字にしてください。英語での原稿の場合、この要領で日本語を記入してください。

9　本文は、２段組とし、７行目から書き始めてください。２段組のため中央部の空白は５㎜ を目安にしてください。

10　本文は、目的、実験方法、結果、考察などの項に分け、それぞれの文頭にこれらを明示してください。研究内容によりこれらの項に分けにくい場合は、項の一部を省略してかまいませんが、上記に相当する内容を必要とします。

11　記号や略号は、水環境学会の投稿論文執筆規定を参考にしてください。

12　図表は鮮明に作成し、細かい字や図は避けてください。

13　カラーで印刷した図表を含む原稿は、モノクロでコピーまたは印刷し、判別できることを確認してください。

14 原稿は、PDF 形式の電子データ又は印刷物を提出してください。

15　作成例は、水環境学会シンポジウム執筆要領を参考にしてください。